

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0010/000000/00/04	事業の種類	4
年度	19	事務事業名	市民意見収集事業	作成日	平成21年1月20日
重要度	4	予算事業名	市民意見収集事業	担当部課名	企画広報課
政策名		計画推進のために			
施策名		市民参加のまちづくり	実施計画への記載	無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規	なし				
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民(各種団体を含む)			
	誰(何)を対象として	全市民(各種団体を含む)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	広く団体や個人からの陳情・要望等を受け付け、住民の市政に対するニーズを把握することにより、効率的な住民サービスを展開する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	市内7箇所に設置した投書箱での意見及びメール等による意見収集を実施する。					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	コスモスの箱	件数	18	14	23	30
	市政へのメール	件数	54	36	34	30

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.084	101.2	0.081	96.4	
	主幹以下職員	0.375	0.245	65.3	0.245	100.0	0.245	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	4,287,108	2,820,144	65.8	2,862,629	101.5	2,807,512	98.1	
	事業費			-		-		-	
	合計	4,287,108	2,820,144	65.8	2,862,629	101.5	2,807,512	98.1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,287,108	2,820,144	65.8	2,862,629	101.5	2,807,512	98.1	
合計	4,287,108	2,820,144	65.8	2,862,629	101.5	2,807,512	98.1		

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市声直便の反映率(%)								
指標説明(式)	市役所内部課調整による反映件数÷市声直便の受付件数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	15	100.0	30	200.0	30	100.0	
	実績	10	30	300.0	17	56.7			
指標名2	市政へのメールの反映率(%)								
指標説明(式)	市役所内部課調整による反映件数÷市政へのメールの受付件数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	30	300.0	30	100.0	
	実績	2	22	#####	11	50.0			

【効率性】

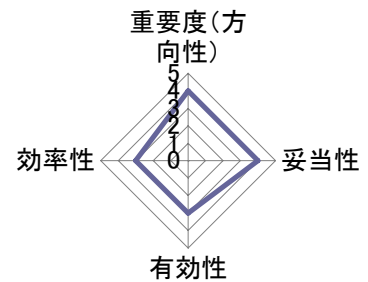
指標名1		受付から回答までの平均日数							
指標説明(式)		受付から回答にかかった日数÷回答が必要な市声直行便							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
日	実績	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	市民ニーズ	住所氏名を明記の上お願いしていますが、匿名でも意見を述べる事は可能である。	4	4
有効性	成果目標(改善)達成度	直接対話ではないため、どこまで市の考え方を理解していただけるかが疑問である。	4	3
	市民サービス	市民は、気楽に意見を述べる事ができる。		
効率性	コストの節減	インターネットによるメールの場合は、送信費用等が電話代のように発生しない。	4	3
	手段の最適性	市民の都合により投書・メールすることができる。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	直接対話でないため、誤った理解をされている方に対して、迅速に説明できない。 また、市民の総意ではないので、市政への反映が難しい。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	匿名等の要望も含めて、一方的な意見に対する市としての考え方の説明を行う。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

市民から頂いた意見について、何らかの広報媒体においフィードバックする。

検討の有無	-
総合指標	20